

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and fiscal year position. Includes details for 'School Education Strengthening' and 'Financial Position'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (概要) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (業務内容). Includes details about library staff and book collection.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段 (手段), ④活動指標 (活動量), ②対象 (対象), ⑤対象指標 (対象), ③意図 (意図), ⑥成果指標 (成果). Includes data for staff configuration, target children, and book usage rates.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes sub-categories like 'National Treasury Expenditure' and 'Regular Staff'.

Table showing internal costs for 30 and 01 fiscal years. Includes categories like '01 Compensation' and '09 Travel'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for implementation content for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	学校図書館活性化事業	事務事業No.	20101000983	所属課	教育指導課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成22年度緊急雇用創出事業「学校図書館蔵書整理事業」として事業を開始する。国庫支出金により全小中学校に学校図書館協力が配置されたことにより、学校図書館蔵書がデータベース化され、バーコードによる貸出が可能になった。学校図書館環境が改善され、児童生徒及び教職員の学校図書館活用率が増加したり、児童生徒の読書量が増加したりした。平成23年度からは「学校図書館活性化事業」として、名称を変更して実施、平成25年度で一端終了したが平成27年度から再開した事業である。			
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 学校図書館協力の配置により、学校図書館の環境が整備され、活用しやすくなった。今後も継続してほしいという要望が全小中義学校から寄せられている。			
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1"> <tr> <td>改革改善を行う</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館協力員3人が14校を分担して業務に当たっているため、1校当たり週に1日しか勤務できないため、十分な支援ができない。 学校により図書管理システムが異なるため、学校間及び市内公立図書館との連携が難しい。 多くの学校が古いフリーソフトの図書管理システムを活用しているため、新しい蔵書データベースソフトと不具合を起こすことが増えている。 </td> </tr> </table>		改革改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館協力員3人が14校を分担して業務に当たっているため、1校当たり週に1日しか勤務できないため、十分な支援ができない。 学校により図書管理システムが異なるため、学校間及び市内公立図書館との連携が難しい。 多くの学校が古いフリーソフトの図書管理システムを活用しているため、新しい蔵書データベースソフトと不具合を起こすことが増えている。
改革改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館協力員3人が14校を分担して業務に当たっているため、1校当たり週に1日しか勤務できないため、十分な支援ができない。 学校により図書管理システムが異なるため、学校間及び市内公立図書館との連携が難しい。 多くの学校が古いフリーソフトの図書管理システムを活用しているため、新しい蔵書データベースソフトと不具合を起こすことが増えている。 		

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校図書館の整備が進み、児童生徒及び教職員が積極的に学校図書館を活用するようになり、学校教育の充実に結びついた。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 新学習指導要領改訂の趣旨にもあるように、児童生徒の学力向上、豊かな心の育成のためには本事業を推進することが必要不可欠である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 3名で市内14校を回っているが、人員を増やすことにより図書館の整備が進むため、利用率等の向上が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 学校図書館の整備が滞り、利用に関しても向上が望めない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業名はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現在、一般職非常勤職員3名を市内14校に巡回させながら実施をしている。現状でも各校を週に1回前後しか訪問できないため、これ以上の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全小中学校に学校図書館協力を4~5校で1名の配置としたため、どの学校においても年間を通してほぼ同じ日数を配置することができた。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>②有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 計画どおりに事業を進めることができ、全小中学校において学校図書館の整備が進んだ。今後、整備された学校図書館環境が維持されるとともに、更なる活性化を図るようになる必要がある。									
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持			×																			
	低下			×																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 学校図書館協力の配置人数が増えれば、各校への勤務日数も増え、各校の学校図書館の活用状況がより向上する。		(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果	⑤																						
コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---